

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	リハルキッズMIYAKO		公表日 令和 8年 3月 23日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		子どもたちの人数、状況、活動内容に合わせてお部屋を選択し使用しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		規定に沿った人数で目づ、子ども達の数やご様子に合わせて職員配置や対応を行っております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	空間分けをしたり視覚支援で掲示し、子どもたちに分かりやすいような環境作りを心がけております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		清潔を保つよう心掛けております。活動に合わせて、空間分けを行ない集中して取り組めるよう工夫しております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	子どもたちの特性や課題に合わせ、個室を使用した対応を行っております。人数によってはグループ分けをし、「静」と「動」の部屋を分けて使用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		毎月の目標を設定し、振り返りを行うことで達成度、改善案を繰り返し行い、職員全員で共通認識を持つように努めております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	保護者様へのアンケートを元に、改善すべきご意見を検討しております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎日、朝と夕にミーティングを行い、職員同士の意見交換を行っております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		外部評価は実施出来ておりませんが利用者様からのご意見を職員間で共有し、業務改善に活かしております。第三者による外部評価を今後検討させていただきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	年間の研修計画がございますので、毎月1回の勉強会を行っております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		ブログにて公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		アセスメント表と面談により作成しております。送迎時などにも困り感等を聞き取り、次の目標設定につなげております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		勉強会により、計画書への理解を全職員に深めてもらっております。計画作成の際は会議を行ない職員全員が参画しております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		作成後はファイルに保管し、毎朝確認、共有を行っております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		標準化されたアセスメントを用い、日々の行動観察も記録し振り返りできるようにしております。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		ガイドラインに沿った個別支援計画書を作成しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		活動内容の立案を担当制にし、毎朝、職員全員で共有しております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		毎月の活動予定を課題や特性に合わせて展開を意識しながら提供しております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		1日3つの療育を行う事で個別活動と小集団活動を提供しております。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎朝、支援内容、一日の流れ等を共有、見える化し、職員間で連携しております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		夕方に終礼を行ない、一日の振り返りを行っております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		毎日、ケース記録を行ない、支援に対しての共有、改善に利用しております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		6カ月に1回職員全員でモニタリングを行ない、計画書見直しが必要かの判断を行っております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		積極的に担当者会議に参加しております。全職員が共有できるように報告、書面にて残しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		保育園との情報共有を月に1回行い、助言等行ったり当事業所での支援につなげております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		送迎時の申し送り、訪問して児童の様子を見学しながら情報共有し、連携しております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3	相談員さんを通して情報共有を行い、移行支援に繋げている。	直接的な情報交換が出来ていないため、必要時に支援内容を共有していきます。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		6		宮古島には児童発達支援センターの設置がございません。今後、設置に向けての取り組みがあるようですので今後動向を把握していきたいと思っております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6		積極的な参加は出来ておりません。そういった機会が作れるよう検討して参ります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		連絡帳、送迎時等に様子をお伝えしたり困り感を共有させていただいております。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		6	保護者参観日を設け、困り感の共有、助言をおこなっております。	ペアトレの実施は行なっておりませんが、地域の開催の情報提供をさせていただきます。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に説明をさせていただいております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		ご家族様に主訴等お聞きしながら、お子さまに合わせて支援計画を考え、ご説明と同意を頂いております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		送迎時等に直接説明させていただいております。	お会いする機会が少ない保護者様については、お電話などでの説明ができるよう努めておきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		送迎時にまめな聞き取りと、参観日、面談等で困り感、相談等お聞きし助言をおこなっております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		6		イベントの開催等で親子体験などを立案し、保護者同士で交流できるよう工夫していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		どの職員でも相談に対応できるよう体制を整えております。迅速に対応できるよう努めております。	

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		ホームページ(ブログ)等を利用し、活動内容等をご紹介します。	今後も、より情報が伝わりやすい開示方法等も踏まえて、検討していきたいと思います。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		細心の注意を払っております。他事業所とのやり取り等に関しましても、ご家族様のご了承を得て行っております。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		お子さまに合わせた、ツールの使用や、マカトンサインなどでのやり取り等を行っております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		事業所の近隣での活動等は行っていますが、更に地域の方との関りが持てる場を作りたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		毎月、活動の中でお子さまと一緒に取り組み、また職員のみでも訓練、確認等を行っております。	ご家族様にも広く理解して頂けるよう、ご希望に合わせてマニュアルの開示や避難訓練のご様子を発信していきたいと思います。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		2か月に1回、定期的に避難訓練を活動の中に取り入れております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	対象のお子さまに関しましては、医師からの情報提供書等を確認しながら、対応させて頂いております。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			対象児がいる際は対応させていただきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		定期的に危険個所の確認、改善を行ない、安全に過ごせるよう管理しております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		6		取り組みに関しては保護者さまに周知できておりませんでした。今後契約時にご説明をさせていただきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		毎日終礼でヒヤリハットを共有し、事故に繋がらないように防止策を話し合いしております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待防止委員会があり、年間研修計画に入れ研修をおこなっております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		お子様達の安全を守る為にも保護者様に丁寧に説明しております。	やむを得ない場合のみ、必要に応じて、ご家族様にご確認、ご了承を得ながら、対応していきたいと思います。